

第三中だより



いちよう

目指す学校像 生徒一人一人の力が伸びる学校

令和8年5月1日

新座市立第三中学校

〒352-0015 新座市池田 1-1-1

TEL(048)479-4052



皐月 部活動の地域展開が始まります

校長 近藤 章宏

持続可能で豊かな仕組みづくりを目指します

1年生も、部活動見学、仮入部を経て、正式に入部届を提出し、本格的な活動が始まりました。基本的に自分が選んだ部活動ですから、自主的に活動に参加し、技能・技術を高めると共に、上級生と下級生との望ましい関係を築き、豊かな中学校生活の一端にしてほしいと願っております。

さて、数年前から市教育委員会からも様々な形で情報提供を行ってまいりましたが、あらためて本年度より本格的に実施される、部活動の地域展開にかかる背景や目的について、お伝えいたします。

はじめに確認していただきたいこととして、部活動の地域展開は週末の土日の部分について外部委託を進めているものです。平日の部活動に関しては今後も、時間や活動日の縮減はあるとは思いますが、引き続き継続して実施してまいります。

部活動地域展開を実施する背景として、まず、少子化が進んでいることや、学校現場における働き方改革が強く求められていることなど、社会的な課題が挙げられます。全国的に子供の数が減少傾向にあります。新座市でも昭和61年には約7400人いた中学生が、昨年度の令和7年に4153人と、44%減少しています。生徒数の減少の影響により、一部の学校では十分な部員数が確保できないことを理由として、部活動の休止や廃部、他校との合同チーム編成を余儀なくされるケースが生じている状況です。

また、これまでの部活動は、学校の教員が勤務時間外である平日の17時以降や休日の土曜日に指導を担うことで維持されてきました。一方で教員の多忙化による心身の負担や健康への影響が顕在化している状況もあり、今までと同様の体制で部活動を維持することが難しくなっていることがあります。

さらに、指導経験が不足している教員が部活動を担当せざるを得ない状況は、技能の習得のみならず、安全管理等の面からも課題となっております。



こういった状況を踏まえ、持続可能な仕組みを新たに構築することが求められており、新座市では、学校単位で行ってきた部活動を、地域のクラブ活動へと展開し、専門的な知識や経験を持つ指導者のもとで活動できる体制を整えてまいります。子供たちは学校の枠を超えて、自分の興味や関心に合ったスポーツや文化活動に参加できるようになります。中学校の通学区域に縛られず、より多様な選択肢の中から活動を選ぶことができるのが大きな特徴です。また教員の負担が軽減されることは、学校全体の教育力の向上にもつながると考えております。地域クラブ活動で指導を希望する教職員は、兼職兼業という形で引き続き指導に関わることも可能です。

新座市では昨年度に、週末の地域クラブ活動を一部の種目で先行実施し、実際の指導の様子や活動する子供たちの様子から、持続可能な体制であるかを検証して、外部委託の予算化を行いました。そして7月からは、主要な種目の休日等の活動を地域クラブへと展開してまいります。7月以降の地域クラブへの参加申し込みは6月頃に行われます。

今後も子供たちのスポーツ、文化面での豊かな体験を確保できますよう、保護者の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

新座市地域クラブ活動組織図

